

パブリックコメントに対する市の考え方

実施時期: 令和3年1月21日(木曜)～令和3年2月10日(水曜)

提出件数: 1件(内訳: 意見箱1件)

延べ意見数: 1件

提出者	意見	意見本文	回答									
1	①	<p>概要版の人口動態について</p> <p>今「高齢者保健福祉計画」(第8期のパブコメ用)と本計画を見比べているところです。何故、同じ市が作成しているのに、基本となるべき数字が違うのですか？都合のいい数字を使用しているのでしょうか？</p> <p>※2025年度分の予測(令和7年分)</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>本計画</td> <td>高齢者保健福祉計画</td> </tr> <tr> <td>市の総人口</td> <td>141,743人</td> <td>150,147人</td> </tr> <tr> <td>老年人口</td> <td>43,855人(30.9%)</td> <td>46,229人(30.8%)</td> </tr> </table> <p>2040年分まで予測していますが、何故、わざわざ違う数字を出してくるのか見当つきません</p>		本計画	高齢者保健福祉計画	市の総人口	141,743人	150,147人	老年人口	43,855人(30.9%)	46,229人(30.8%)	<p>第2期多摩市まち・ひと・しごと創生総合戦略(以下、「総合戦略」という)の多摩市人口ビジョンにおける将来展望人口と第8期多摩市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画<<令和3～5年度(2021～2023年度)>>(以下、「高齢・介護計画」という)における多摩市の人口推移・推計では、計画期間に違いがあるため、別々の方法により算出された推計値を使用しています。</p> <p>総合戦略の多摩市人口ビジョンにおける将来展望人口は、平成27年国勢調査の人口を基準にして国立社会保障・人口問題研究所及び内閣官房まち・ひと・しごと創生本部で作成した推計値を基に、2065年(令和47年)までの推計を行っています。</p> <p>この将来展望人口では、5年おきに実施されている国勢調査人口を基準に推計を行っていることから、将来展望人口は5年ごとに算出されています。</p> <p>なお、国が策定した「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」における人口の長期的展望も同様に、平成27年国勢調査の人口を基に、推計を行っています。</p> <p>一方、高齢・介護計画は、今後3年間の高齢者施策や、介護保険サービスの見込量及び負担水準等の施策の方向性を定める計画です。</p> <p>今後3年間の介護保険サービスの見込量の算出にあたっては、今後3年間の推計値が必要であることから、国勢調査をベースに5年ごとに算出されている総合戦略の将来展望人口を使用することができません。そのため、総合戦略の将来展望人口とは違う方法により算出された推計値を使用しています。</p> <p>推計値は、住民基本台帳人口を基に直近の出生数、死亡数、転入数、転出数の状況を踏まえて算出をしています。</p> <p>なお、令和7年時点において、総合戦略の将来展望人口が、146,391人(老年人口43,932人、高齢化率30.0%)であるのに対し、高齢・介護計画の多摩市の推計値が、150,147人(老年人口46,229人、高齢化率30.8%)となっているのは、住民基本台帳人口を基に算出した推計値が、近年の多摩市における人口増の影響を強く受けて算出されているため、総合戦略の将来展望人口と比較してやや多く算出されています。</p>
	本計画	高齢者保健福祉計画										
市の総人口	141,743人	150,147人										
老年人口	43,855人(30.9%)	46,229人(30.8%)										